

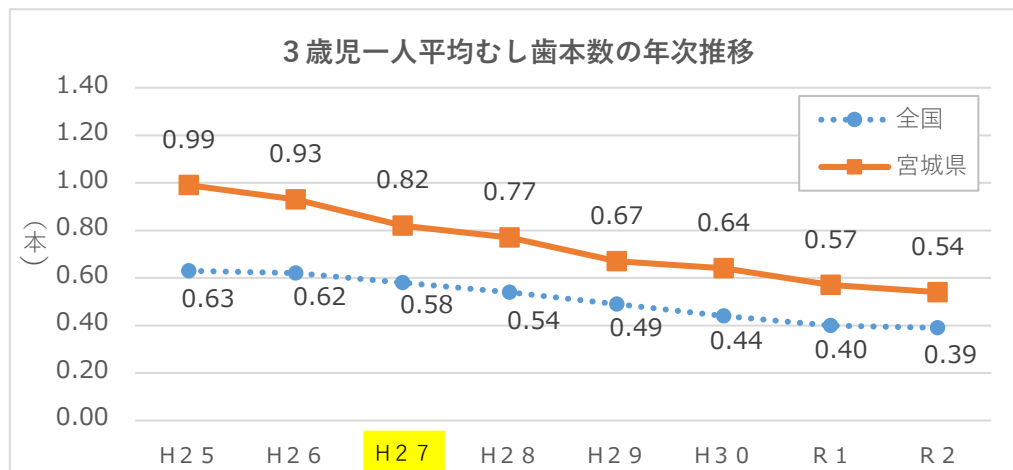
第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の達成指標の進捗状況について

資料3

妊産婦期・乳幼児期

(概ね5歳まで)

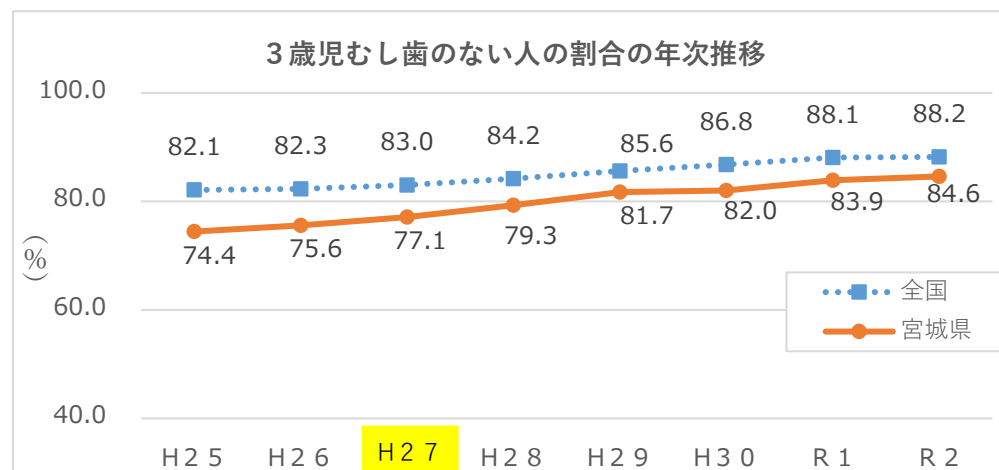
達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
3歳児の一人平均むし歯本数	0.82本 (H27)	0.58本 以下	0.54 (R2)	0.39 (R2)	地域保健 健康増進事業報告 (厚生労働省)



※黄色 第2期宮城県基本計画策定時における現状値の年度(以下同じ)

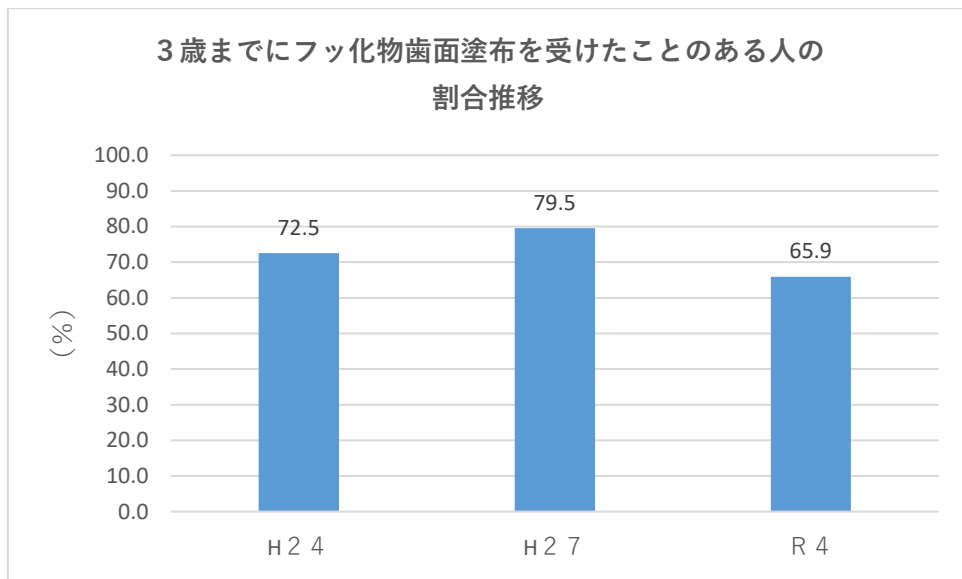
- ◆ 本県の3歳児一人平均むし歯本数は年々減少しており、令和2年度調査結果では0.54本と、第2期計画の目標値である0.58本を達成する実績となっている。
- ◆ 市町村の乳幼児健診や歯科保健指導、フッ化物応用等の取組により、着実にむし歯本数は減少している。
- ◆ 一方で、全国平均を下回る状況が続いており、更なる取組が必要である。(全国38位)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
3歳児におけるむし歯のない人の割合	77.1% (H27)	90%以上	84.6% (R2)	88.2% (R2)	地域保健 健康増進事業報告 (厚生労働省)



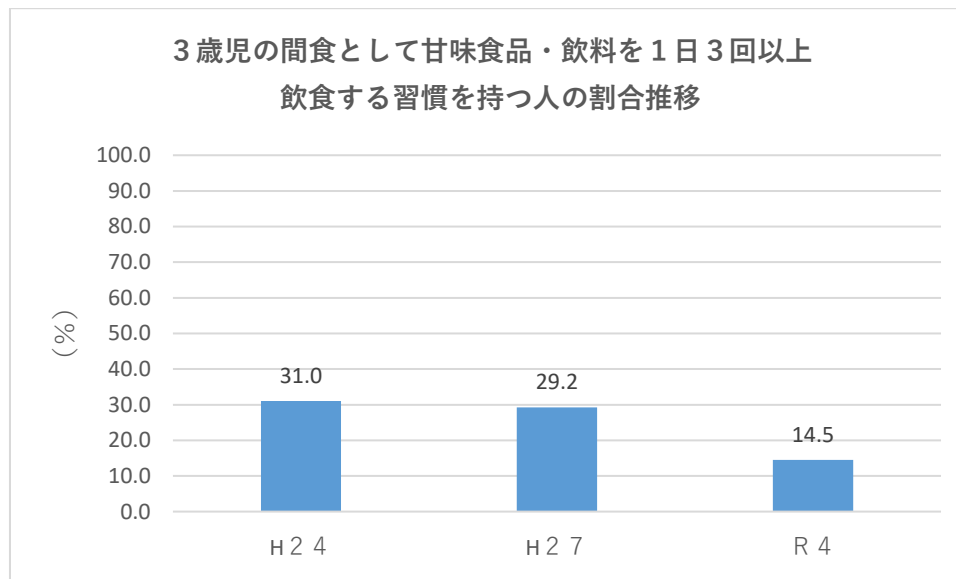
- ◆ 本県の3歳児におけるむし歯のない人の割合は年々増加しているが、令和2年度調査結果では、84.6%と、第2期計画の目標値である90%に着実に近づいている。
- ◆ 市町村の乳幼児健診や歯科保健指導、フッ化物応用等の取組により、着実にむし歯本数は減少している。
- ◆ 一方で、全国平均を下回る状況が続いており、更なる取組が必要である。(全国33位)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合	79.5% (H27)	94%以上	65.9% (R4速報値)	—	幼児における歯科保健行動調査 (宮城県)



- ◆ 平成27年度と令和4年度速報値の比較では、フッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合が13.6%減少している。
 - ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響で、歯科保健指導や歯科検診等を受ける際に、フッ化物歯面塗布を受ける機会が得にくかったことが要因として考えられる。
- ※現在状況等調査中

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合	29.2% (H27)	15%以上	14.5% (R4速報値)	—	幼児における歯科保健行動調査 (宮城県)

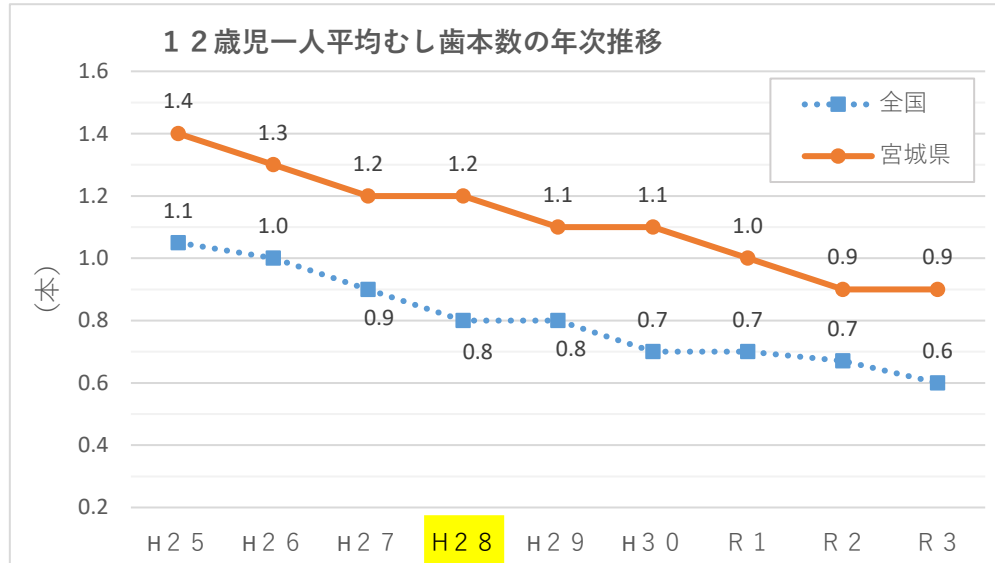


- ◆ 平成27年度と令和4年度速報値の比較では、3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合は14.7%減少している。
- ◆ 一定の改善が見られるが、歯みがき等の習慣に加え、糖質の取り方に留意した食習慣を持つことは、むし歯予防に大切であることから、引き続き啓発に取り組んでいく必要がある。

学童期・思春期

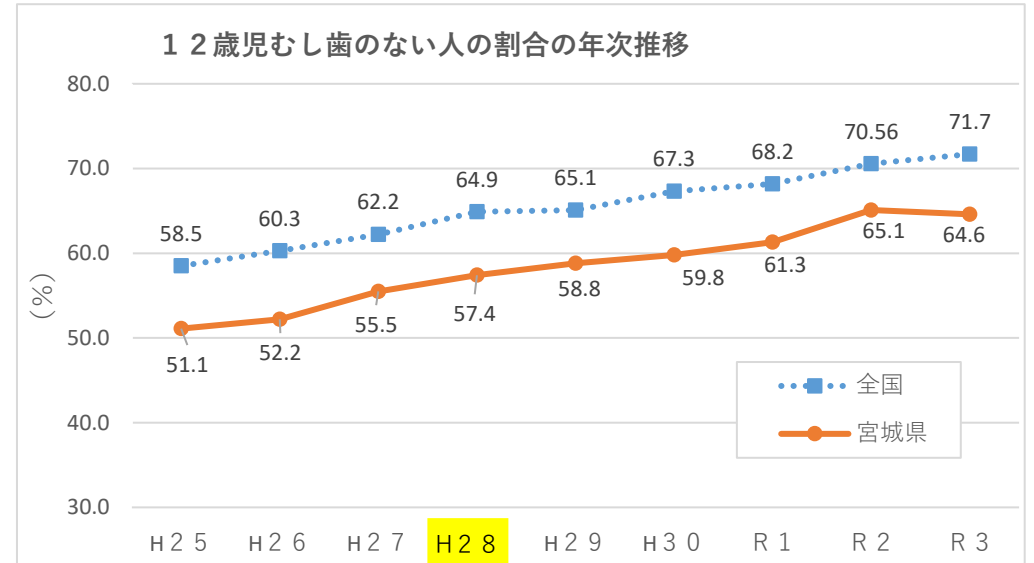
(概ね6歳～18歳まで)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
12歳児の一人平均むし歯本数	1.2本 (H28)	0.8本 以下	0.9本 (R3)	0.6本 (R3)	学校保健統計調査 (文部科学省)



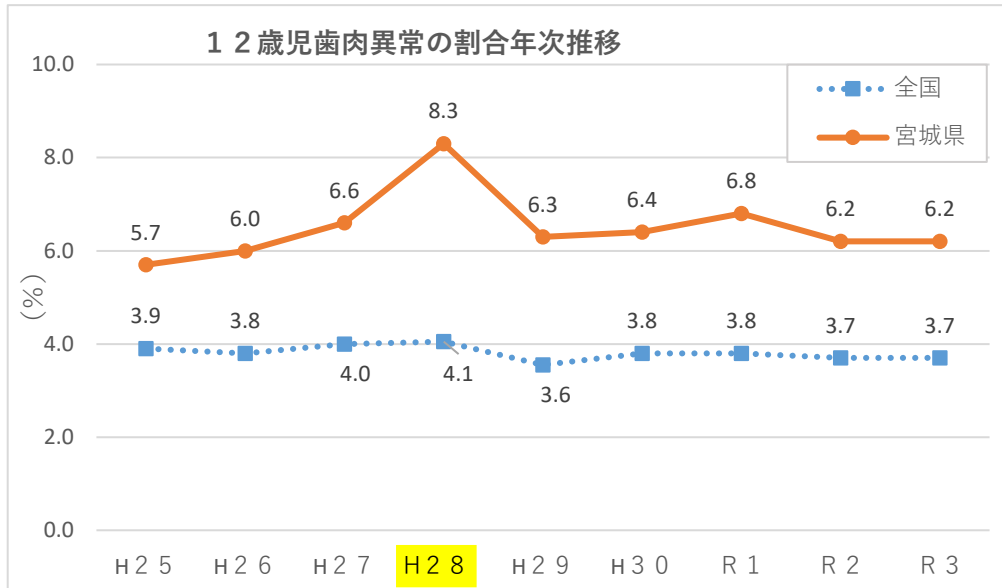
- ◆ 本県の12歳児一人平均むし歯本数は、長期的には着実に減少しているが、令和3年度調査結果では0.9本と、令和2年度と同様の数値となった。
- ◆ 全国平均を下回る状況が続いており、フッ化物洗口の導入に向けた市町村支援の強化など更なる取組が必要である。(全国37位)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
12歳児におけるむし歯のない人の割合	57.4% (H28)	65.0%	64.6% (R3)	71.7% (R3)	学校保健統計調査 (文部科学省)



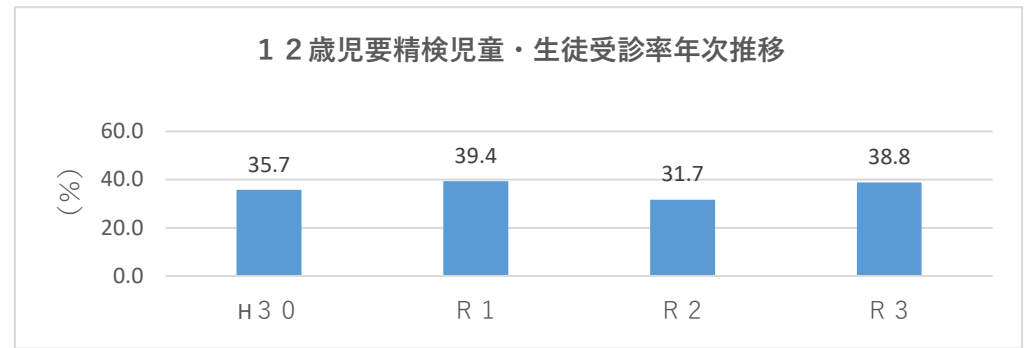
- ◆ 本県の12歳児におけるむし歯のない人の割合は長期的には増加しているが、令和3年度調査結果では64.6%と、昨年度の数値から減少した。
- ◆ 全国平均を下回る状況が続いており、フッ化物洗口の導入に向けた市町村支援の強化など更なる取組が必要である。(全国38位)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
12歳児における歯肉に異常のある人の割合	8.3% (H28)	4.1% 以下	6.2% (R3)	3.7% (R3)	学校保健統計調査 (文部科学省)



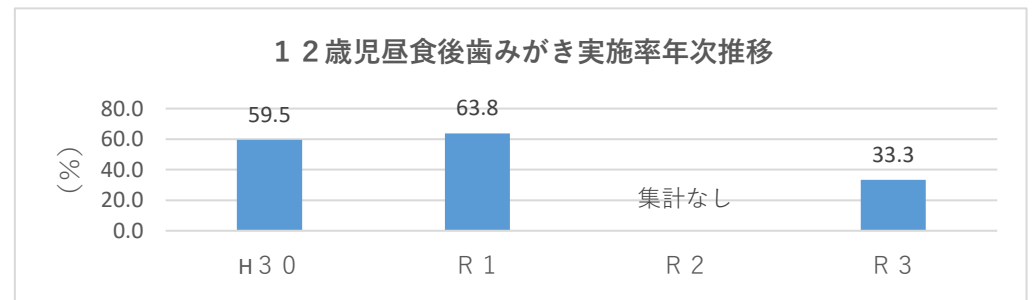
- ◆ 歯肉に異常のある人の割合は、平成28年度をピークにその後減少し、横ばいとなっている。(全国43位)
- ◆ 歯肉の異常については、適切な歯みがきと定期的なプロフェッショナルケアにより改善維持できることから、歯みがき指導や定期的な歯科受診の重要性について、児童生徒や保護者へ伝えていく必要がある。

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
12歳児における要治療・要精検児童生徒の受診率	35.7% (H30参考値)	60%	38.8% (R3)	—	宮城県児童生徒の健康課題統計調査 (宮城県教育委員会)



- ◆ 令和2年度と令和3年度の比較では、7.1%増加しているが、ほぼ横ばいで推移している。
- ◆ 受診率向上には、保護者の協力が不可欠であり、受診行動に繋がるような保護者への啓発が必要である。

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
学校における昼食後の歯みがきの実施率	59.5% (H30参考値)	78%	33.3% (R3)	—	宮城県児童生徒の健康課題統計調査 (宮城県教育委員会)

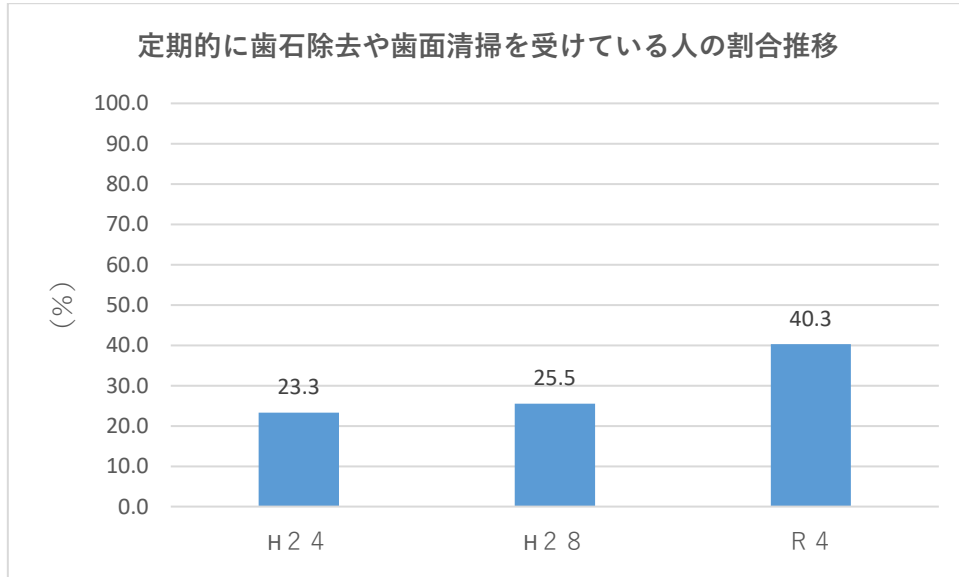


- ◆ 令和元年度と令和3年度の比較では、30.5%減少している。
- ◆ 学校で継続して歯みがきに取り組めるよう、感染予防対策を実施した上での取組方法について、教育委員会や学校へ情報提供していく必要がある。

青年期

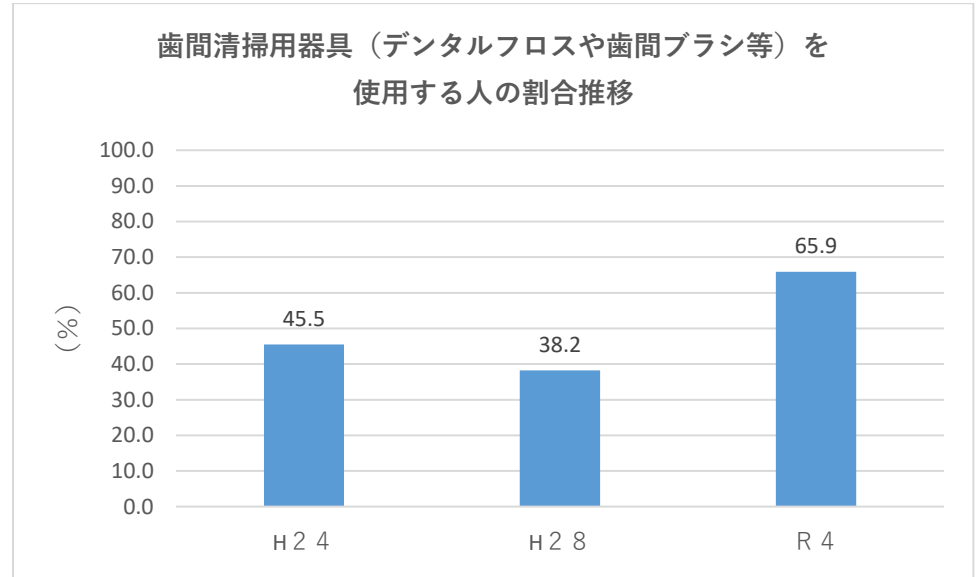
(概ね19歳～39歳まで)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	25.5% (H28)	30%以上	40.3% (R4速報値)	—	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)



- ◆ 平成28年度と令和4年度速報値の比較では、定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合は14.8%増加している。
- ◆ 割合は改善しているが、青年期から定期的にプロフェッショナルケアを受けることは、壮年期以降の歯周病予防につながることから、今後も更に啓発に取り組んでいく必要がある。

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
歯間清掃用器具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用する人の割合	38.2% (H28)	60%以上	65.9% (R4速報値)	—	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)

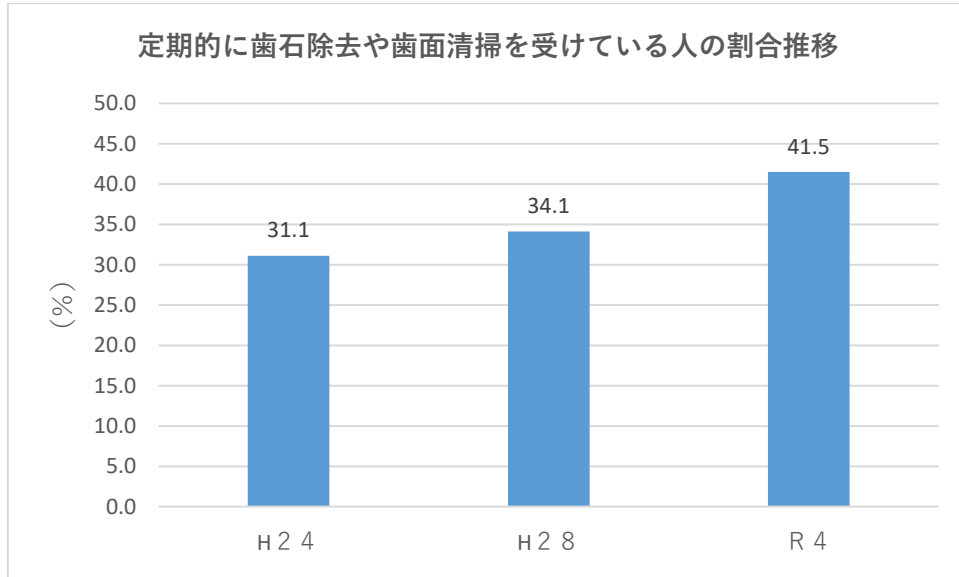


- ◆ 平成28年度と令和4年度速報値の比較では、歯間清掃器具を使用している人の割合は27.7%増加している。
- ◆ 使用する人の割合は増加していることから、今後は効果的な使用方法に関する知識の普及にもより一層取り組んでいく必要がある。

壮年期

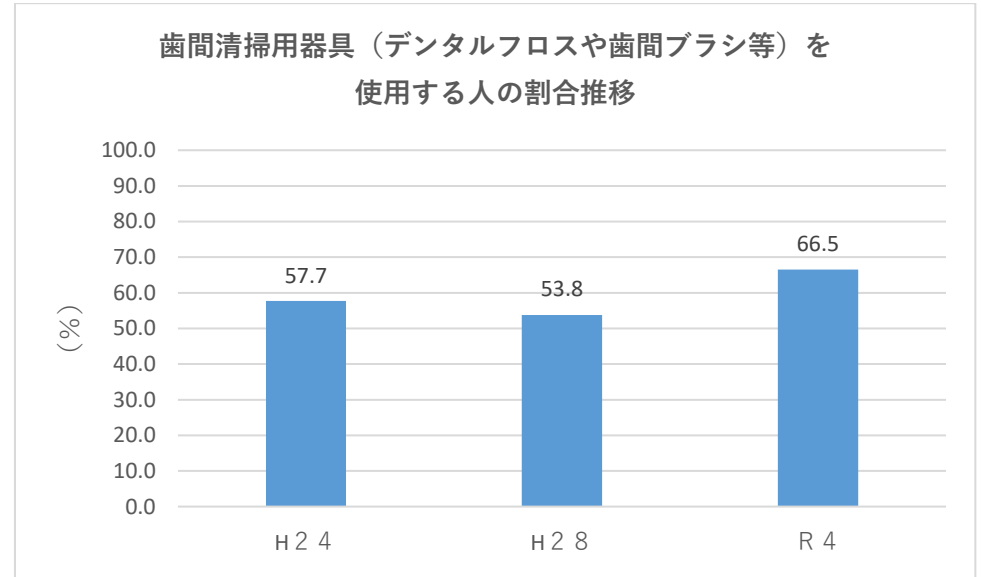
(概ね40歳～64歳まで)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	34.1% (H28)	45%以上	41.5% (R4速報値)	—	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)



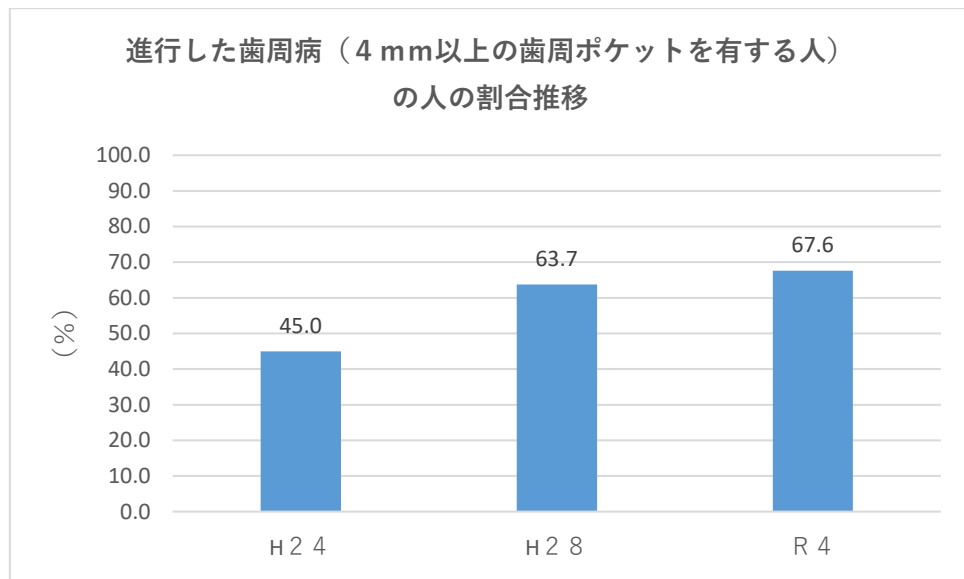
- ◆ 平成28年度と令和4年度速報値の比較では、定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合は7.4%増加している。
- ◆ 割合は改善しているが、歯周病等の歯周疾患を持つ人の割合が増加する年代であることから、定期的なプロフェッショナルケアによる予防の啓発を更に推進する必要がある。

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
歯間清掃用器具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用する人の割合	53.8% (H28)	70%以上	66.5% (R4速報値)	—	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)



- ◆ 平成28年度と令和4年度速報値の比較では、歯間清掃器具を使用している人の割合は12.7%増加している。
- ◆ 使用する人の割合は増加していることから、今後は効果的な使用方法に関する知識の普及にもより一層取り組んでいく必要がある。

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットを有する人）の人の割合	63.7% (H28)	40%以下	67.6% (R4速報値)	—	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)

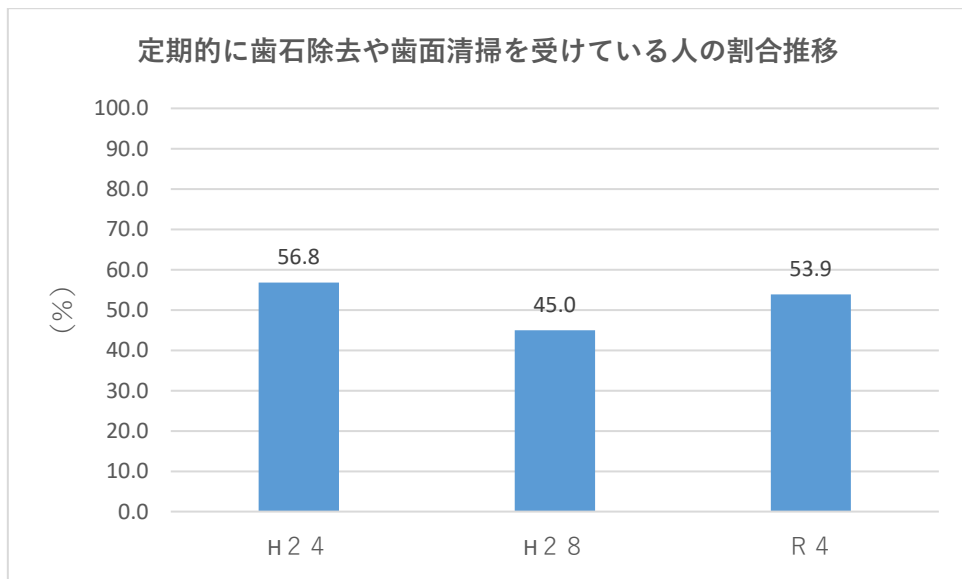


- ◆ 平成28年度と令和4年度速報値の比較では、進行した歯周病の人の割合は3.9%増加している。
- ◆ 割合が悪化していることから、働き盛り世代の歯周病対策を強化し、事業所での歯科健康管理の実施状況の向上や、歯科検診の機会の確保とその推進に取り組んでいく必要がある。

高齢期

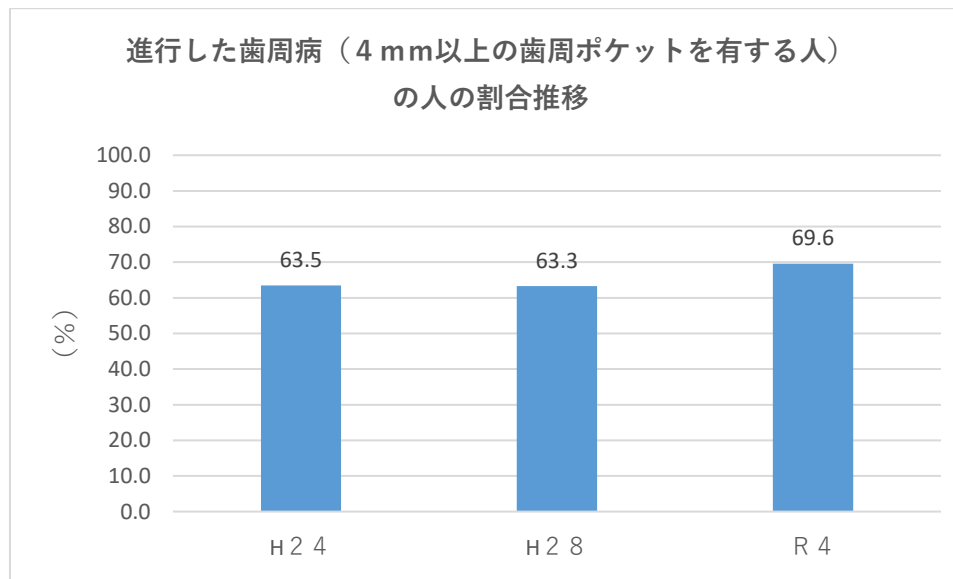
(概ね65歳以上)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	45.0% (H28)	60%以上	53.9% (R4速報値)	—	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)



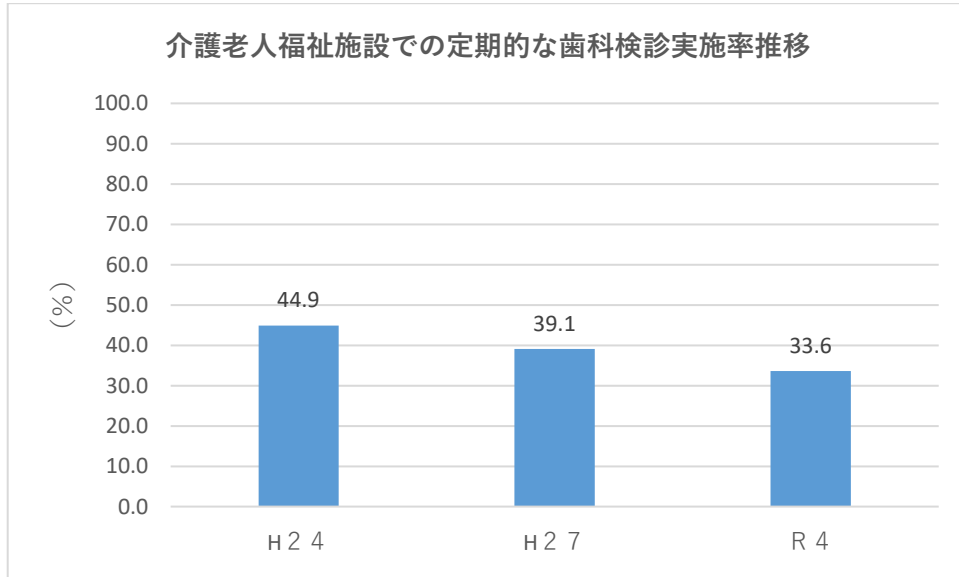
- ◆ 平成28年度と令和4年度速報値の比較では、定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合は8.9%増加している。
- ◆ 平成24年度との比較で横ばいとなっており、今後、歯周病対策に加え、根面のむし歯予防に関する啓発等を強化し、かかりつけ歯科医から適切な予防措置を受けることを促進する必要がある。

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットを有する人）の人の割合	63.3% (H28)	55%以下	69.6% (R4速報値)	—	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)



- ◆ 平成28年度と令和4年度速報値の比較では、進行した歯周病の人の割合は6.3%増加している。
- ◆ 割合が悪化していることから、歯周病は全身の健康にかかわり、特に糖尿病等生活習慣病の重症化にもつながることの啓発や、定期的な歯科検診等の機会の確保等により、歯周病対策を進める必要がある。

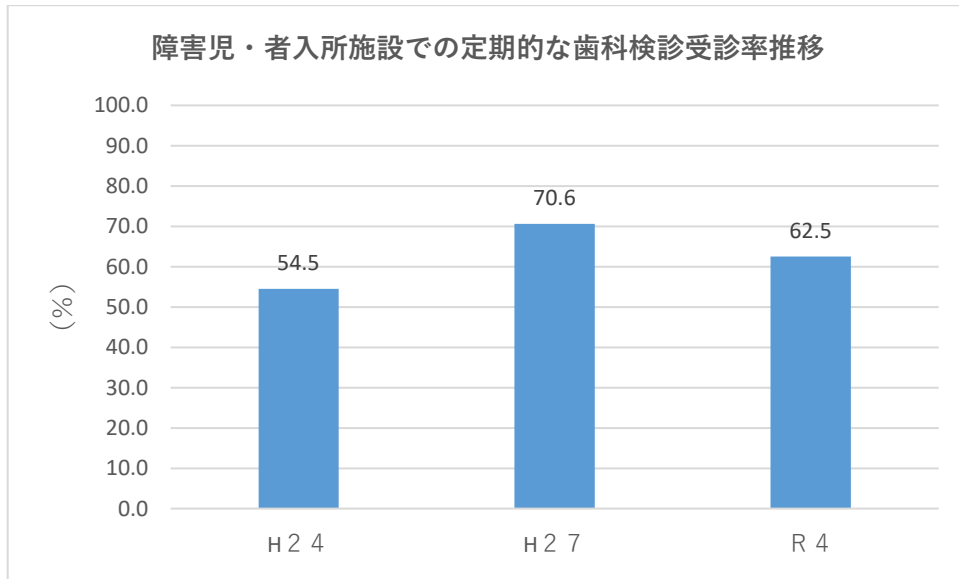
達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
介護老人福祉施設での定期的な歯科検診実施率	39.1% (H27)	50%	33.6% (R4速報値)	—	老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所における歯と口腔の健康づくり取組状況調査（宮城県）



- ◆ 平成27年度と令和4年度速報値の比較では、介護老人福祉施設での定期的な歯科検診実施率は5.5%減少している。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響があったことが予想され、引き続き協力歯科医療機関との連携体制の構築や相談対応等の支援を継続していく必要がある。

障がい児・者

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
障害児・者入所施設での定期的な歯科検診受診率	70.6% (H27)	90%	62.5% (R4速報値)	—	老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所における歯と口腔の健康づくり取組状況調査（宮城県）



- ◆ 平成27年度と令和4年度速報値の比較では、介護老人福祉施設での定期的な歯科検診実施率は8.1%減少している。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響があったことが予想され、引き続き協力歯科医療機関との連携体制の構築や相談対応等の支援を継続していく必要がある。

第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の達成指標一覧

計画期間：平成30年度から令和5年度まで

※今後、速報値及び集計中の数値を確定させ、現状値を令和5年4月末時点の最新値に更新した上で、令和5年度に指標の目標達成状況について評価を行う。

【凡例】
 ◎：改善し目標達成
 ○：改善しているが目標は未達成
 ×：悪化している
 —：R4年度調査実施・集計中
 （R5年5月頃集計完了予定）

妊産婦期・乳幼児期

概ね5歳まで

達成指標	第2期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	達成状況	備考
3歳児の一人平均むし歯本数	0.82本 (H27)	0.54本 (R2)	0.58本 以下	◎	地域保健健康増進事業報告（厚生労働省）
3歳児におけるむし歯のない人の割合	77.1% (H27)	84.6% (R2)	90%以上	○	地域保健健康増進事業報告（厚生労働省）
3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合	79.5% (H27)	65.9% (R4速報値)	94%以上	×	幼児における歯科保健行動調査 (宮城県)
3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合	29.2% (H27)	14.5% (R4速報値)	15%以下	◎	幼児における歯科保健行動調査 (宮城県)

学童期・思春期

概ね6歳から18歳まで

達成指標	第2期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
12歳児の一人平均むし歯本数	1.2本 (H28)	0.9本 (R3)	0.8本以下	○	学校保健統計調査（文部科学省）
12歳児におけるむし歯のない人の割合	57.4% (H28)	64.6% (R3)	65.0%	○	学校保健統計調査（文部科学省）
12歳児における歯肉に異常のある人の割合	8.3% (H28)	6.2% (R3)	4.1%以下	○	学校保健統計調査（文部科学省）
12歳児における要精検児童生徒の受診率	35.7% (H30参考値)	38.8% (R3)	60%	○	宮城県児童生徒の健康課題統計調査 (宮城県教育委員会)
過去1年間に歯科医院や学校で歯みがきの個別指導を受けた人の割合	44.3% (H28)	集計中	63%以上	—	R4調査で実績把握・集計中 (宮城県児童生徒の健康実態調査（宮城県教育委員会）)
フッ化物配合歯みがき剤の使用割合	96.3% (H28)	集計中	現状維持 (96.3%)	—	R4調査で実績把握・集計中 (宮城県児童生徒の健康実態調査（宮城県教育委員会）)
学校における昼食後の歯みがき実施率	59.5% (H30参考値)	33.3% (R3)	78%	×	宮城県児童生徒の健康課題統計調査 (宮城県教育委員会)

青年期

概ね19歳から39歳まで

達成指標	第2期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
かかりつけ歯科医を持つ割合	49.1% (H28)	集計中	70%以上	—	R4調査で実績把握・集計中 (県民健康・栄養調査(宮城県))
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	25.5% (H28)	40.3% (R4速報値)	30%以上	◎	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)
歯間清掃用器具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用する人の割合	38.2% (H28)	65.9% (R4速報値)	60%以上	◎	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)
喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の割合	59.9% (H28)	集計中	100%	—	R4調査で実績把握・集計中 (県民健康・栄養調査(宮城県))

壮年期

概ね40歳から64歳まで

達成指標	第2期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
かかりつけ歯科医を持つ割合	56.6% (H28)	集計中	70%以上	—	R4調査で実績把握・集計中 (県民健康・栄養調査(宮城県))
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	34.1% (H28)	41.7% (R4速報値)	45%以上	○	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)
歯間清掃用器具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用する人の割合	53.8% (H28)	66.4% (R4速報値)	70%以上	○	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)
進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の人の割合	63.7% (H28)	67.6% (R4速報値)	40%以下	×	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)
60歳で24本以上歯を保持する割合	54.3% (H28)	集計中	70%以上	—	R4調査で実績把握・集計中 (県民健康・栄養調査(宮城県))
喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の割合	50.2% (H28)	集計中	100%	—	R4調査で実績把握・集計中 (県民健康・栄養調査(宮城県))

高齢期

概ね65歳以上

達成指標	第2期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
80歳で20本以上歯を保持する割合	39.8% (H28)	集計中	50%以上	—	R4調査で実績把握・集計中 (県民健康・栄養調査(宮城県))
かかりつけ歯科医を持つ割合	69.4% (H28)	集計中	72%以上	—	R4調査で実績把握・集計中 (県民健康・栄養調査(宮城県))
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	45.0% (H28)	53.9% (R4速報値)	60%以上	○	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)
進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の人の割合	63.3% (H28)	69.6% (R4速報値)	55%以下	×	宮城県歯と口の健康実態調査 (宮城県)
喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の割合	41.4% (H28)	集計中	100%	—	R4調査で実績把握・集計中 (県民健康・栄養調査(宮城県))
介護老人福祉施設での定期的な歯科検診実施率	39.1% (H27)	33.6% (R4速報値)	50%	×	老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所における歯と口腔の健康づくり 取組状況調査(宮城県)

障害児・者

達成指標	第2期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	評価	備考
障害児・者入所施設での定期的な歯科検診受診率	70.6% (H27)	62.5% (R4速報値)	90%	×	老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所における歯と口腔の健康づくり 取組状況調査(宮城県)